

平成 28 年 3 月期 決算について

1. 業績概要

当会計年度におけるわが国経済は、輸出・生産面において新興国経済の減速の影響もみられたものの、企業収益や雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復を続けてきました。

建設業界におきましては、公共投資は緩やかな減少傾向にあるものの、民間設備投資は緩やかな増加基調にあり、総じて好調な受注環境が続く一方、人手不足など厳しい状況も続きました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、太陽光発電設備工事は買取価格の低下などにより減少しましたが、営業・工事の各部門が一体となってリニューアル工事の提案営業など積極的な営業活動を展開したことや、電柱建替等の配電線工事の増加に適切に対応したことなどにより、売上高につきましては前年度を上回ることとなりました。

営業利益につきましては、売上高の増加及び原価低減の一層の徹底などにより前年度を上回ることとなりました。

経常利益につきましては、営業利益が増加したものの、営業外収益として計上した投資有価証券償還益が減少したことなどにより前年度を下回ることとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益が減少したものの、投資有価証券売却益を特別利益として計上したことなどにより前年度を上回ることとなりました。

当会計年度の業績は、次のとおりであります。

連結経営成績

(単位：百万円…未満切捨)

| 区 分 | 27 年 3 月 期 | 28 年 3 月 期 | 増減額 | 増減率 |
|-----------------|------------|------------|--------|-------|
| 売 上 高 | 145,547 | 147,752 | 2,204 | 1.5% |
| 営 業 利 益 | 9,430 | 10,977 | 1,546 | 16.4% |
| 経 常 利 益 | 16,130 | 14,804 | △1,325 | △8.2% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 10,492 | 10,889 | 396 | 3.8% |

個別経営成績

(単位：百万円…未満切捨)

| 区 分 | 27 年 3 月 期 | 28 年 3 月 期 | 増減額 | 増減率 |
|-----------|------------|------------|--------|-------|
| 売 上 高 | 133,944 | 134,345 | 401 | 0.3% |
| 営 業 利 益 | 8,213 | 9,852 | 1,639 | 20.0% |
| 経 常 利 益 | 14,919 | 13,727 | △1,191 | △8.0% |
| 当 期 純 利 益 | 10,054 | 10,463 | 408 | 4.1% |

2. 事業の状況（個別）

個別の部門別、得意先別の売上高は下表のとおりです。

（1）部門別 売上高

（単位：百万円…未満切捨）

| 区 分 | 27年3月期 | | 28年3月期 | | 増 減 | |
|--------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|
| | | 構成比 (%) | | 構成比 (%) | | 増減率 (%) |
| 屋内電気工事 | 75,082 | 56.1 | 71,601 | 53.3 | △3,480 | △4.6 |
| 空調・管工事 | 20,295 | 15.1 | 21,629 | 16.1 | 1,334 | 6.6 |
| 情報通信工事 | 5,797 | 4.3 | 4,265 | 3.2 | △1,531 | △26.4 |
| 配電線工事 | 29,144 | 21.8 | 32,038 | 23.8 | 2,894 | 9.9 |
| 発送変電工事 | 3,625 | 2.7 | 4,810 | 3.6 | 1,184 | 32.7 |
| 合 計 | 133,944 | 100.0 | 134,345 | 100.0 | 401 | 0.3 |

（2）得意先別 売上高

（単位：百万円…未満切捨）

| 区 分 | 27年3月期 | | 28年3月期 | | 増 減 | |
|---------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|
| | | 構成比 (%) | | 構成比 (%) | | 増減率 (%) |
| 中国電力(株) | 35,595 | 26.6 | 39,243 | 29.2 | 3,648 | 10.2 |
| 一般得意先 | 98,348 | 73.4 | 95,101 | 70.8 | △3,246 | △3.3 |
| 合 計 | 133,944 | 100.0 | 134,345 | 100.0 | 401 | 0.3 |

3. 次期の業績予想

今後の経済見通しにつきましては、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、各種政策の効果もあって、国内景気は緩やかな回復を続けていくことが期待されます。一方、中国を始めとする新興国等の景気の下振れや、金融市場の変動の影響により景気が下押しされるリスクがあります。

このような状況のもと、太陽光発電設備工事の減少が想定される中、当社グループは、引き続きリニューアル工事等の提案営業を強化するとともに、中国地域における営業基盤の強化、都市圏の事業拡大及び成長戦略による事業拡大を推進し、受注の確保・拡大を図ってまいります。

また、太陽光発電設備工事の減少及び都市圏の事業拡大などにより受注競争の激化が想定される中、当社グループ全体で原価管理の徹底や、業務の効率化・最適化を図り、利益の確保に取り組んでまいります。

次期の業績につきましては、次のとおり見込んでおります。

（1）連結業績予想

（単位：百万円…未満切捨）

| 区 分 | 28年3月期実績 | 29年3月期予想 | 増減率 |
|-----------------|----------|----------|--------|
| 売 上 高 | 147,752 | 148,000 | 0.2% |
| 営 業 利 益 | 10,977 | 9,300 | △15.3% |
| 経 常 利 益 | 14,804 | 11,600 | △21.6% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 10,889 | 7,700 | △29.3% |

（2）個別業績予想

（単位：百万円…未満切捨）

| 区 分 | 28年3月期実績 | 29年3月期予想 | 増減率 |
|-----------|----------|----------|--------|
| 売 上 高 | 134,345 | 135,000 | 0.5% |
| 営 業 利 益 | 9,852 | 8,500 | △13.7% |
| 経 常 利 益 | 13,727 | 10,800 | △21.3% |
| 当 期 純 利 益 | 10,463 | 7,300 | △30.2% |

4. 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分につきましては、次の「資本政策の基本的な方針」に基づき行うこととしております。

【資本政策の基本的な方針】

当社は、通常の運転資金と突発的なリスクへの対応を考慮したうえで、持続的な成長のための投資に内部資金を活用するとともに、業績や経営環境等を総合的に勘案し、株主還元を充実していくことにより、中長期的な企業価値の向上を目指す。

(1) 持続的な成長のための投資

事業の拡大、人材育成・研究開発強化等、将来の成長に繋がる投資に内部資金を有効活用する。

(2) 株主還元の充実

業績等を踏まえつつ、持続的・安定的な配当を行う。

また、経営環境等を総合的に勘案したうえで、必要に応じて自己株式取得を実施する。

当社は、上記方針に基づき、持続的・安定的なより高水準の配当を行うことを重視し、DOE（連結株主資本配当率）2%を目処に配当を行う配当方針としております。

また、お支払いについては、定款の定めに基づく取締役会決議による中間配当及び株主総会決議による期末配当の年2回を基本としております。

これにより、当期の期末配当金は、1株当たり41円となり、当期の年間配当金は、中間配当金1株当たり31円と合わせて1株当たり72円とする予定としております。

なお、次期の配当金につきましては、配当方針に従いまして、年間配当金は1株当たり72円を予定しており、その内訳は、中間配当金が1株当たり36円、期末配当金が1株当たり36円であります。

| | 1株当たり配当金 | | |
|----------|------------|--------|--------|
| | 中間(第2四半期末) | 期末 | 年間 |
| 28年3月期予定 | (※) 31円00銭 | 41円00銭 | 72円00銭 |
| 29年3月期予想 | 36円00銭 | 36円00銭 | 72円00銭 |

(※) 平成28年3月期の中間(第2四半期末)配当金については、平成27年12月7日に実施しております。

以 上